

# 第2回教育委員会

令和3年1月26日  
午後3時30分  
本庁舎市会第5委員会室

案 件

議案第6号

令和3年度大阪府新学力テストについて

## 議案第6号

### 令和3年度大阪府新学力テストについて

標記テストは、大阪府の状況を指標として子どもたちの学力を客観的に把握することができ、子どもたちの最善の利益に資するものになることから、令和3年度大阪府新学力テストに本市も参加することとする。

#### 1 大阪府新学力テストの概要

- 目的
    - ・大阪の子どもたちが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実に付ける。
    - ・子どもたち一人ひとりが、自らの強みや弱みを知り、今後の目標をもつ。
  - 対象 小学校第5・6学年
  - 時期 令和3年5月27日（木）
  - 内容
    - 5年生 国語(20分) 算数(20分) 理科(20分)  
教科横断的な問題(40分) アンケート(20分)
    - 6年生 教科横断的な問題(40分) アンケート(20分)
    - 教員 アンケート
- ※アンケート項目については、本市の経年調査にも活用を検討する。

#### 2 参加する理由

大阪府教育委員会の提案を受け、本テスト参加について慎重に検討するとともに大阪府教育委員会とも協議を重ねてきた結果、

- ・「大阪市小学校学力経年調査」と「大阪府新学力テスト」により、短いスパンでPDCAサイクルを回すことでよりきめ細かい指導ができる。
- ・「大阪府新学力テスト」と「中学生チャレンジテスト」により、小学校・中学校ともに大阪府内での学力状況を分析することができる。
- ・児童が自らの強みを知ることで、2学期以降の学習意欲を高め学力の向上に繋げていくことができる。
- ・学校・教員は、非認知能力等の分析による子ども一人ひとりの躰きと良さを府提供データにより把握し、2学期以降の指導改善に繋げていくことができる。

などの点から本テストへの参加は本市児童の利益に資すると考えられる。

令和3年度の実施に向け、今後も大阪府教育委員会と引き続き連携し、本テストの分析及び児童、保護者、学校へのフィードバックの在り方、教科横断的な問題の在り方、結果の公表の仕方等について継続して協議を続けていく。

各種学力調査による学びの検証改善サイクルを確立

